

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

クローン病術後吻合部^{ふんごうぶ}潰瘍に関する後方視的多施設研究

*吻合部：つなぎ合わせた部分 *後方視的研究：既に行われたことをさかのぼって調査する研究

【目的】

クローン病外科手術後の再発率は高く、特に吻合部に好発するとされています。さらに、再発は術後早期に起こり、吻合部付近にアフタ（粘膜の炎症）が発生するとされています。そこで、クローン病術後の吻合部観察症例を集積し、本邦における吻合部潰瘍の現状を把握することで、吻合部潰瘍が再発病変であるか否か、また治療介入が必要あるのか等を明らかにしたいと考えています。

【対象】

2008年1月～2013年12月の間に当院でクローン病に対する小腸部分切除、回結腸切除、結腸部分切除手術が施行され、再建時に吻合が施行された方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が調査用紙に入力し、研究代表者へメールにて送付します。送付された情報を研究代表機関で解析し、厚生労働省のホームページに掲載している難病克服事業における公開や論文として公表されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（手術情報、術前治療、術後治療、再手術情報、内視鏡所見 等）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから2017年12月31日まで

【研究組織】

厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患等政策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
ホームページ <http://ibd-japan.org/>

【研究代表者】

奈良県立医科大学 消化器・総合外科 植田 剛

【当院の研究責任者】

炎症性腸疾患センター 杉田 昭

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒240-8555 横浜市保土ヶ谷区岡沢町 56
電話 045-331-1961（病院代表） 炎症性腸疾患センター 杉田 昭

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。